

2015年7月 メディカルはこだて第55号 掲載

『がん相談支援センター 開設』



写真右から医療福祉相談課長の田中博光さん、医療福祉相談課の岡田吉広さん。

北海道が指定する「北海道がん診療連携指定病院」として道南圏では初めて北海道知事の指定を受けた。道南地区では「がん診療連携拠点病院」として、市立函館病院と函館五稜郭病院の2病院が指定さ

がん相談支援センターの「がん相談支援センターのご案内」

がん相談支援センターの「がんサロン ほっと」

がん患者同士が語り合う
がんサロン「ほっと」

がん相談支援センターの開設と同時に、がんサロン「ほっと」も設けられた。サロンはがん患者同士が療養生活上の悩みや不安を自由に語り合う場だ。同病院では以前、化學療法の通院患者にアンケートを実施した。がんサロンをサポートしている医療福祉相談課主任の小口修さんは「アンケートでは、悩みや不安を打ち明けることができるサロントの意見が多くありました」と教えてくれる。がん患者には家族や仕事、社会との関わりなどいろいろな悩みがあるが、同じ境遇の人に話を聞いて欲しいと考えている人は多い。

サロンの参加者には個人情報等の守秘義務を徹底。また、参加者のニーズに合わせたミニレクチャーやイベントなど

函館中央病院（橋本友幸院長）は、5月1日総合医療支援センター内に「がん相談支援センター」を開設した。がん相談支援センターは、これまで全国の「がん診療連携拠点病院」に設置されてきた「がんの相談窓口」だ。患者や家族などに、がんに関する情報を提供したり、がんの治療法や療養生活全般の質問・相談に応じている。

同病院は昨年4月1日付で、北海道が指定する「北海道がん診療連携指定病院」として道南圏では初めて北海道知事の指定を受けた。道南地区では「がん診療連携拠点病院」として、市立函館病院と函館五稜郭病院の2病院が指定さ

れで、がん患者や家族の相談窓口となり、一人ひとりの話を聞きながら、その人らしい生活をするためのお手伝いをする。相談窓口のスタッフは医療福祉相談課の3人の医療ソーシャルワーカーが担当

している。同病院の年間総手術件数は約4500件で、がん手術は600件以上に達している。さらに、抗がん剤の化學療法は通院の外来化学療法を中心年間3000件にもなるなど、がん診療の実績は道南の病院の中でも上位の成績を誇っている。

悩みや不安を解決するため一緒になつて考える

がん相談支援センターは北海道がん診療連携指定病院にとつても重要な役割の一つである。新たに開設したセンタ

ーでは、がん患者や家族の相談窓口となり、一人ひとりの話を聞きながら、その人らしい生活をするためのお手伝いをする。相談窓口のスタッフは医療福祉相談課の3人の医療ソーシャルワーカーが担当するが、相談の際には医学用語や外来語などの難しい言葉や表現を出来る限り使わない丁寧な説明に努めている。

「がんと診断されると、驚くと同時にさまざまな不安や心配なことがたくさん頭に浮かんでき、どのようにしたらよいのかわからなくなることがあります」と医療福祉相談課長の田中博光さんは話す。これまでも総合医療支援センターではセカンドオピニ

岡田吉広さんは「当院の医師や看護師などの職員が患者さんや家族からの相談や悩みを聞く際に、十分な時間を確保することが難しい場合が多くあります。がん相談支援センターはこのような職員の思いも引き受けながら、院内連携を図っていきます。患者さ

函館中央病院は「がん相談支援センター」を開設
がん患者や家族の悩みに真摯に向き合いサポートする

田中 博光 氏

函館中央病院
医療福祉相談課課長

小口 修 氏

函館中央病院
医療福祉相談課主任

岡田 吉広 氏

函館中央病院
医療福祉相談課